

H29年度 まちづくりプラン賞活動報告

沢岬アマウエーダ同好会（沢岬自治会）

沢岬アマウエーダ
舞台公演の充実



アマ ウェー ダ 天 親 田

- ・おもろ等と並ぶ古謡で、クウェーナに分類される。
- ・古来の米作りを

39番までの節によりその情景を謡う。

田に適した土地の選定・種まき・田植え、生育状況、
収穫・貯蔵までの手順で、豊年・五穀豊穰を祈願し
謡う（予祝）。



オモロの原文
対訳

浦添は 浦添には
みきどあるな さけどあるな
神酒が有る 酒が有る

多謝 多謝
きよや きよや

今日は 今日
よきせによがからへつかい
世寄せによの方を招き
とかしきや とかしきや

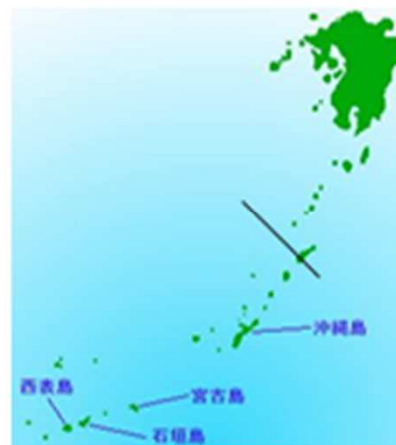
渡嘉敷は 渡嘉敷には
さきどあるな みきどあるな
酒が有る 神酒が有る

どの地域で、いつの時代に謡われていたか

どの地域で：沖縄諸島の村々から徳之島・喜界島。

いつの時代：島津侵攻(1609)以前(伊波)

オモロ以前(外間ら)



アマウエー型の神歌分布

(クウェーナ日、ミセセル1、チルクグチ1日、ウムイ日)

沢岬集落におけるアマウエーダをめぐる変遷

- 沢岬集落で稲作農家の家長（男性のみ）による
農耕儀礼として戦前まで謡われていた。
- 戦後、社会経済の変化に伴い、**その伝統行事は衰退・消滅。**
- H25年に、アマウエーダの調査研究が行われたのを契機に、
アマウエーダ同好会の結成による**再現の試みが開始され、**
平成29年は、5回目の公演を1年後に迎える節目に当たり、
内容充実が求められた。

まちづくりプラン賞への応募動機

神様の白い衣装も手作りでした。



1. 専用衣装の整備

- ・現在使用されている衣装や小道具はすべて手作りと借用。
- ・破損・劣化のリスクや所有者の都合により今後の継続使用が困難。



2. パフォーマンスの向上と、継承発展のために 不可欠な子供達の参加を促す

- 謡の内容に合った理解しやすいパフォーマンスをする上で必要不可欠。
- **子ども用の衣装も同時に整備することで、**
地域と共に舞台公演・活動が促進される。

Before

1回目 公演
沢岷自治会敬老会 平成26年9月14日



After

新しい衣装での舞台公演

新しい衣装を身に着け元気な舞台公演になった。
参加者も21名に増え舞台が賑やかになりました





子供達7人が新しい子供衣装を身に着け
喜んで参加してくれました。
活気のある演出ができました。





豊年満
沢山天親田



クジ-の衣装をまとった女神（うないがみ）の所作にも
「さらに見ごたえがでた」との意見が聞かれた。

収 支 清 算 書

収入の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
助成金	200,000	200,000	0	沢岷自治会
受賞者負担	58,000	58,000	0	
寄付金	0	0	0	
計	258,000	258,000	0	

支出の部

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減	説 明
舞台衣装一式	258,000	258,000	0	バサ、加里、クジ等、舞台役割に沿った衣装 ・ 大人用 ・ ・ ・ 19着 ・ 子供用 ・ ・ ・ 6着 ・ 神様用 ・ ・ ・ 1着 ・ 神女用 ・ ・ ・ 2着 * 詳細は別添 資料参照
計	258,000	258,000	0	

これからの活動の方向性

• 本格的な沢岨アマウエーダの始動

1. 再現の試みに続き、参加者を増やし、アマウエーダの継承発展を目指す。
2. 学術・芸術的な調査・研究をすすめ、質の高い、民族舞台芸能としての「沢岨アマウエーダ」を始動させる。

• 潤いのあるまちづくり

1. 総括的なアマウエーダ活動の中で、親子や地域の連携に役立てる。
2. 長期的に、より広域的な文化行事を模索する。(アマウエーダ祭りやイベントなど)

年間活動スケジュール（案）

- ・平成30年9月16日（日）
 沢岷自治会主催敬老会舞台公演
 舞台公演に向けた練習（6月から毎月1回）
- ・平成30年12月2日（日）・・・予定
 浦添市婦人会連合会演劇のつどい
- ・継承発展のための広報・調査研究及び資料の整理
 - ・沖縄文化協会公開研究発表会（2018年 6/30～7/1）
 - ・提供された新しい音源を基にした謡い方と舞台演出の研究
 音源CD等の作成資料の整理、

沢岬アマウエーダの継承発展を通して
住みよい潤いのあるまちづくり
に役立てたい。

今後ともご支援をお願い致します。